

## Michel ( ミシェル )

Melodious Tourist

-Elder Bard-

やたらゴツくなった Blade Spirits 召喚中。  
沼地の大物相手に戦うのにもすっかり慣れた。

侍 Gazel・Azel の姉。吟遊詩人として旅をしている最中、隠された島 徳之諸島に迷い込んでしまい、しばらくブリタニアに帰れないでいた(そこで夫の Kurogane と知り合った)。その後、どうにかブリタニアに戻ってきたものの、弟妹達のあまりにろくでもない食生活を見かね、ほこりを被っていた魔法工房の台所を預かるようになった。その料理の腕は確かに一流であり、工房を訪れる人々も、それを楽しみにしていた。しかし、ついに吟遊詩人の修行に集中するべく、料理の知識と経験を後身に譲ることを決意。純粋な(?)「バードメイジ」への道を歩み始めた。

純白のブレンドレスに羽根帽子・純白サンダルが彼女のスタイル。中にはブリタニアの食料調達に協力した証の白いシャツも着込んでいる。手にスペルブックを持つスタイルを始めたのも、工房の中では彼女が最初。Clouse のお手製で、「魔法」と「瞑想」をブーストしてくれる。

相棒は ridable llama( 乗りラマ ) の Moco と カブトムシ ( giant beetle ) の Renault ( ルノー )。カブトムシには沢山の食材が詰められているという噂。元々は ostard に乗っていたのだが、ラマ乗りだったはずの Clouse がすっかりカブトムシを手放せなくなり、気づくと普段ラマに乗る人がいなかったことを勿体無いと思い、彼女がラマ乗りとして名乗りを上げたいらしい。そこで、Clouse のラマである Moco と自分が乗っていた ostard の Silva を交換した。

彼女が GM まで育て上げ、彼女の一番の仕事ともなっていた「調理」は新たに登場したキャラクター Velzette に託した。

とうとう本業となった吟遊詩人の技は「音楽」は現在 Elder。さらに「沈静化」が GM に到達、ついで「扇動」が GM になった。残った「不調和」は現在 93 くらいなので、まだまだ修業の余地がある。

それでも bog thing や、plague beast ならば、バード能力を駆使して倒せるようになり、酸エレコと acid elemental も他の大物にけしかけて気軽に退治を頼めるようになった。気づけばほぼ沼地での戦闘だけで、称号が「Glorious」になっていたが、肝心なところで転がされるため、Lady の称号を得るまでには至っていない。

また、地道な練習により「魔法」「評価」も GM に到達しているが、本格的な BM(バードメイジ)を名乗るべく、パワースクロールの使用と更なる修行を始めようとしている。スキル 100 ポイント分の空きができたわけだから、バード技能とあわせて、メイジ技能もさらに上げる余地が生まれたのである。

『武刀の天地』導入前にブリタニアに戻れていたが、元々料理の扱いが不遇を極めていたため、割と趣味のキャラクターだった。しかし、『武刀の天地』『宝珠の守人』で料理にも様々なバリエーションが追加され、そのたびに嬉しそうにしていた。

<u>TOSのPC~(戦士系1)</u>	<u>TOSのPC~(戦士系2)</u>	<u>TOSのPC~(魔術師系)</u>	<u>TOSのPC~(使役系)</u>	<u>TOSのPC~(非戦闘系)</u>	ふるーのPC
<u>Andrew~Velzette</u>	<u>侍</u> <u>Rosally~Azel</u> <u>Gazel~Kurogane~O</u>	<u>魔術師</u> <u>Glazel~Clouse</u>	<u>テイマー</u> <u>Gazel~Lilian~Michel</u>	<u>Sherria~Randelt~Ri</u>	<u>Melody~Mami</u>

(工房の面々のトップに戻りたいときはこちらをクリック)

---